

要求仕様書(例)

赤字の項目は、必ず記載をしてください。

1. 概要

生産性向上のために導入する ICT ツールの概要をここに記載ください。

1-1. 背景・目的・期待する効果

(背景)なぜ ICT ツールの導入をすることになったのかを、「会社を取り巻く環境・事業を踏まえた経緯」と「現状の課題」を記載してください。

(目的)ICT ツールの導入による「現状の課題」を解決するための対応策を記載してください。

(期待する効果)ICT ツール導入後の期待する効果(xx%生産性 UP、労働時間xx削減、xx%販売量 UP、組合員のxx増加等)を記載してください。

1-2. システム構成図

ICT ツール導入後のシステム構成概略図を記載ください。

データと業務の流れも概略図に記載してください。

2. 業務要求

2-1. 業務フロー

ICT 化したい現状業務フローと、ICT ツール導入後の業務フローを対比して記載してください。

フロー(流れ)がわかるようにし、各業務を行う人、データも記載してください。

2-2. 規模

どれぐらいの規模の業務を想定しているのかを記載してください。

具体的には、ICT 化の対象業務の組織数や利用者数といった業務の規模を定量的に記載してください。

2-3. 時期・時間

ICT 化対象業務の業務時期や業務時間などを記載してください。

例)

業務時期:毎週月曜日から3営業日までに実施

業務時間:9 時～17 時

2-4. 範囲

ICT 化する範囲、制約事項を記載してください。

具体的には、予算、納期、既存システムの改修できる部分等の制約事項を記載し、ICT 化するシステムの範囲を記載してください。適宜、ICT 化するシステムの範囲図を入れてください。

3. 機能要求

3-1. 機能

要求する機能を記載してください。大項目、中項目、小項目ブレイクダウンして整理して記載するとわかりやすいです。また各要求する機能についてなぜ必要なのか、優先度(例:重要度 A、重要度 B、重要度 C 等)も併せて記載すると良いです。

3-2. 画面/帳票

画面要求は、画面一覧／画面構成図／画面遷移図などに加えて、具体的な画面イメージを記載してください。

帳票一覧／帳票構成図などに加えて、具体的な帳票イメージを記載してください。

3-3. データ・ログ

取り扱うデータ、処理方法などを記載してください。

ログとして保存する情報を記載してください。

3-4. 外部インターフェイス

外部システムと本システムとの間の下記インターフェイス要求を記載してください。

- ・ユーザーインターフェイス
- ・ハードウェアインターフェイス
- ・ソフトウェアインターフェイス
- ・通信インターフェイス

4. 非機能要求(品質にかかわる要求)

4-1. ユーザビリティ及びアクセシビリティ

どのような利用者がどのように使用すればいいのかを記載してください。

利用者の IT リテラシーが高いか低いかにより、画面構成や操作方法をどの程度シンプルしたいのかを記載してください。

ユーザービリティの項目(例)

- ・画面構成
- ・操作のしやすさ、分かりやすさ
- ・指示や状態の分かりやすさ
- ・エラーの防止とエラー時の処理
- ・ヘルプ(ヘルプ情報のみやすさ、わかりやすさ)

アクセシビリティの項目(例)

- ・機能へのアクセスのしやすさ
- ・指示や状態の分かりやすさ
- ・言語のわかりやすさ多言語化

高齢者や障害者、多国籍の利用者でも支障なく利用できるような要求はここに記載してください。

4-3. 性能

性能に関する事項を記載してください。

ICT 化対象業務のピーク時、通常時等のシステムに対する応答時間要求等について記載してください。

4-4. 信頼性

信頼性に関する事項をここに記載してください。

可用性と完全性について記載してください。

・可用性

運用計画(稼働時間・停止予定など)、障害、災害時における稼働目標、たとえば稼働率を記載してください。

・完全性

「データの欠損や不整合がないこと」について、たとえば機器の破損への対策、ログの取得などを記載してください。

4-5. 継続性

大規模災害時における復旧目標時間や、データのバックアップ等について記載してください。

4-6. セキュリティ要求

必要とされるセキュリティレベルをここに記載してください。

- ・利用者等の認証 例: ユーザーID やパスワードによる認証
 - ・権限管理 例: アカウントの登録・更新・停止・削除など
 - ・アクセス管理 例: 利用者の職務に応じて利用機能を制限
 - ・ログ管理 例: システムの利用記録・検索など
 - ・暗号化機能 例: 不正アクセス防止や情報漏洩対策
 - ・不正プログラム対策 例: ウィルス感染防止の対策
 - ・通信の制御 例: 不正な通信データの遮断
- など

4-7. 規模

ICT 化において必要な機器数や一度に処理するデータ量、システム機能毎に最大処理件数などを記載してください。

4-8. 拡張性

利用者やデータ量の増加といった「性能の拡張性」や、「システム機能の拡張」における要求を記載してください。

4-9. 上位互換性

前のバージョンにどのように対応するのか、OS やソフトウェアのバージョンアップに おける要求を記載してください。

5. 稼働環境

セキュリティの観点から最適な稼働環境を記載ください。

たとえば、サーバー等の設置における立地や拠点条件を記載してください。

6. テスト

システムの品質を担保するために必要なテストの種類や目的、方法、実施内容、範囲、報告書内容等を記載してください。単体テスト、結合テスト、総合テスト、受入テスト(運用テスト)について、それぞれ記載してください。

(受入テストは、ユーザー側のテストになるので、ベンダー企業に支援してもらう内容について記載します)

7. 移行要件

7-1. 移行

現行システムからの移行のプロセス、タイミングなどをここに記載してください。

7-2. 引継ぎ

システム開発企業と、システム運用企業が異なる場合は、運用企業への引継ぎ要件を記載してください。

8. 運用要求

8-1. 教育

運用・利用・活用方法の教育などを記載してください。

8-2. 運用

運用体制、運用業務をここに記載してください。

定常運用、障害時運用などのシステム運用における要求を記載してください。

9. 保守要求

誰がどのように実施するのかを記載してください。

ソフトだけでなくハードウェア等も含めた、システムの保守における要求を記載してください。たとえば、オンライン保守の必要性、不具合発生時の対応方法、ソフトウェアのバージョン管理の方法等を記載します。

以上。